

子どもたちの迎える「クリスマス」

12月の子ども達は、どの子も密かにクリスマスを心待ちにしている姿があります。聖アンナ幼稚園では、待降節という長い期間を様々な形で過ごします。玄関には、紙粘土の“馬小屋で誕生するイエス様”、園中のあちらこちらにリースやツリーなどで飾り付けをし、手作りのりんごろうそくなどで準備をします。クリスマスの前に全員での「プレクリスマス」。りんごろうそくに火を灯して、ファーストクリスマスのお話を聞き、クリスマスソングを一緒に歌います。そして毎日、お昼にお部屋や玄関でりんごろうそくに火を灯したり、クリスマスに因んだ絵本の読み聞かせを続けるのです。また、行事のクリスマス会では、ささやかに祝い手作り等のプレゼントを頂きます。更には、子どもたちが作ったクッキーをツリーに飾ったり、食べたりしながら待つのです。大人からみたら少し地味かもしれませんが、でも約3週間の間、すっかり子どもの心も満たされた精神性のようなものが見えてきます。子ども同士で「サンタさん、ぜったい来るよ。」の会話も頷けるのです。ろうそくの灯をともし時の子どもの姿、りんごの甘い香りを感じる時の様子から、子どもの中に秘める神秘、聖なる心と重なり、言葉だけでは言い表せない感覚を経験しているように思います。クリスマスは、心が落ち着き人間が優しくなるような、だから待ち焦がれていいのではありませんか。

